



平成 31 年 1 月 24 日

常滑市長 片岡憲彦様

常滑市議会議長 杉江繁樹



「第6回議会と語る会 市民団体スピーチ 議会と共に」での
要望について

平成 30 年 12 月 18 日に「第6回議会と語る会」を開催し、市内で活動する団体関係者からいただいた意見を踏まえ、要望事項を下記のとおり取りまとめました。

常滑市におかれましては、ぜひ議会の要望と認識して頂き、検討されますようお願い申し上げます。

記

常滑市防災ボランティアリーダー会

意見要望等	議会として市への要望
① 障がいをもつ方の避難対策について	福祉避難所の登録諸施設とのより一層の連携強化と障がい者配布用専用避難マニュアルの策定、周知に努めてもらいたい。
② 財源確保のために	現在、市の補助金を活用して防災訓練等で紹介する備品の購入などに当てられているが、より効果的に啓蒙活動に充当できるよう、予算要求の段階で十分な意向調査を行い、希望に添えるよう努めてもらいたい。
③ 地区防災活動について	各区の防災班は、ほぼ交代制のため、継続性の観点から、各区で防災リーダーを固定化させ、災害時に、機能的に活動できる組織作りを促すよう努めてもらいたい。

子育て支援協議会

意見要望等	議会として市への要望
① 子育て支援フェスタについて	参加団体等の担い手不足など、設営にも支障が出ている現状を踏まえ、より一層の市の支援に努めてもらいたい。
② 市長さんと話そう会	直接、市長と子育て世代が話せる場として有益であることが実感できた。 引き続きこうした取り組みに対して協力していくことに努めてもらいたい。
③ 魅力的施設の充実	近隣市町に比べ、常滑市内で子どもと気軽に遊べる施設がないため、多くの子育て世代は市外に出向

	<p>くことが分かった。</p> <p>常滑市での子育て支援充実にはこうした施設の整備も必要であることから、担当課内での議論を深めるよう努めてもらいたい。</p>
--	---

半田法人会常滑支部

意見要望等	議会として市への要望
<p>① 法人会では小中学校、高校に租税の出前教室を実施している。今後も続けたい。</p>	<p>市内の小中学生に対して税金の仕組みやその使い方など、出前教室を設けることは大変有意義な活動であると認識した。</p> <p>引き続き市内の小中学校で時間を割く事が出来るよう、その必要性などについて校長会等で話すよう努めてもらいたい。</p>

商工会議所青年部（YEG）

意見要望等	議会として市への要望
<p>① 市内の商店が活性化すれば経済的に活力が生まれる。常滑市内を訪れる観光客の利便性を考えると今後、キャッシュレス化の導入は必要不可欠となる。ぜひ推進してほしい。</p>	<p>キャッシュレス化導入については議会として推進の立場で意見書を可決し国に提出した。</p> <p>特に、外国人観光客が多い常滑市では他の市町に比べキャッシュレス化は有効性が増すと考えられることから、常滑市としてもより一層の調査研究を重ね、来たるべき時代に備えた対応に努めてもらいたい。</p>
<p>② 市内の事業所と進出企業の連携（ビジネスチャンス）や定期的な交流の場を提供して欲しい</p>	<p>りんくう町始め新たな企業が進出したことは市内の事業所にとって大きなビジネスチャンスにもつながる。</p> <p>商工会議所などと連携し、交流の機会が出来るよう検討していただきたい。</p>

愛知県宅地建物取引業協会 知多支部常滑ブロック

意見要望等	議会として市への要望
<p>① 常滑市の空き家対策について</p>	<p>空き地・空き家バンクのポータルサイトで成果は出ているが、大府市、東海市、南知多町では市町と提携して、あっせん、活用、処分を行っている。</p> <p>そうした現状を踏まえ、常滑市においても先進地での取り組みを参考に、更なる空き家対策の強化に努めてもらいたい。</p>
<p>② 狭い道路の拡幅を</p>	<p>空き家がふえる要因の一つとして、道路幅員が狭いことも大きく関係してくる。</p>

	半田市では市道にする土地の買取りを行っているが、常滑市はそのような制度はない。今後の空き家利活用の施策の一つとして、事例を参考に、より良い解決方法に努めてもらいたい。
③ 所有者がわからない家や土地の対策	個人情報により、空き家・空き地の活用について次に進めないこともある。空き家・空き地の利活用について、担当課内でよく話し合い、次に進める手立てや方針を検討していただくよう努めてもらいたい。

常滑市子どもを守る会

意見要望等	議会として市への要望
① 加入促進について	<p>青海・南陵地区については、子どもは減少傾向であるものの、守る会加入率は95%ある。一方で、鬼崎・常滑地区は、年度中の転入が多く、加入のお誘いが出来にくい状況であり、加入率が伸び悩んでいる。</p> <p>新しい転入者に対し、常滑市及び学校の協力が不可欠であることから、市民窓口での加入促進チラシの配布や学校毎で異なる対応ではなく、統一の加入促進対策などに努めてもらいたい。</p>
② 早朝立哨について	<p>加入率の低下により、常滑西小学校区では、平成31年度から月に3～4回ほど立哨に出る人も予想される。</p> <p>より多くの男性の協力も必要であり、男性勧誘にも協力を求めると共に、男性用の立哨専用着衣などを充実させ、地域全体で子どもを見守る組織作りに力を注ぐよう努めてもらいたい。</p>